

事業報告

I 概況

新型コロナウイルスによる行動制限が解除されて、当協会の事業も通年に近い状況に戻りつつあります。2023年度は、各種講習会においては人数制限を通常に戻し、意見交換会も感染対策を取りつつ実施することで、会員間の交流を図りました。運転業務研究発表会も聴講者を自由参加として従来の発表としました。また、海外鉄道視察団は欧州の物価高と円安の影響を受けましたが、期間を短縮するなど工夫して再開しました。さらに、各種委員会、各支部総会および関東部会は、各社局のご協力により全て実施することができました。

受託調査研究として、動力車操縦者運転免許制度のあり方に関しては鉄道事業者の意向を調査し、検討会を開催しました。また、動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）の基準の修正や、数値基準との整合性をとるための基礎データを収集するなど、省令の改正に寄与しています。さらに、協会の自主研究として「解説 鉄道に関する技術基準(運転編)」の見直しを行い、発刊準備が完了しました。

II 会務関係

会務活動については、2023年6月30日に第13回定時社員総会、評議委員会及び第49回、50回理事会を、11月24日に第51回理事会、支部長会議を開催した他、2024年3月1日に第52回理事会を開催して業務執行体制の更なる定着を図ってきた。

また、第17回運営委員会を2023年8月17日に開催したほか、各種委員会等についても、ほぼ計画通り実施することができた。

1 第13回定時社員総会

2023年6月30日13時30分 第13回定時社員総会をステーションコンファレンス万世橋（秋葉原）404会議室において開催した。会員総数24,550名中、出席者40名、委任状21,604名、合計21,644名（正会員及び法人会員総数の88%）にて定款第18条に基づく「過半数」を満たして成立し、次の議案を審議し、それぞれ承認、可決された。

(1) 報告事項

- ・2022年度事業報告
- ・2023年度事業計画及び収支予算について

(2) 決議事項

- 第1号議案 2022年度決算の承認に関する件
- 第2号議案 理事及び監事の選任に関する件

2 第13回評議委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年6月30日 12時30分から開催し、次の案件を審議承認した。

- 議案 理事及び監事の候補者に関する件
- 報告事項 評議委員会委員

その他、総会附議事項の説明を行った。

3 理事会

(1) 第49回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年6月30日 12時45分から開催し、次の議案の審議及び可決を行ったほか、報告事項の承認を行った。

決議事項

- 第1号議案 2022年度事業報告について
- 第2号議案 2022年度決算及び監査報告に関する件

第3号議案 第13回定時社員総会への附議事項に関する件

(1) 報告事項

- ・2022年度事業報告
- ・2023年度事業計画並びに予算

(2) 決議事項

- ・理事及び監事の選任に関する件

(2) 第50回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年6月30日 14時30分から開催し、次の議案の審議及び可決を行った。

決議事項

- 第1号議案 会長選定の件
- 第2号議案 副会長、専務理事及び代表理事選定の件
- 第3号議案 執行理事選定の件
- 第4号議案 名誉会長選任の件
- 第5号議案 運営委員会委員の選任・承認に関する件

(3) 第51回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年11月24日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2023年度表彰に関する件
2023年度運転功労者表彰者、協会功績者褒賞及び運転協会誌優秀作品表彰者の決定について

報告事項

- ・2023年度上半期決算報告について
- ・東記念賞選考委員会の選考結果について
- ・2023年度の運転業務研究発表会の結果について
- ・運輸業務管理ゼミナールの開催について
- ・会員状況について
- ・会務報告と今後の予定

(4) 第52回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年3月1日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2024年度事業計画(案)及び予算(案)に関する件
- 第2号議案 第14回定時社員総会招集の件及び同社員総会に附議する議案に関する件

報告事項

- ・2023年度決算見込みについて
- ・2024年度の主要会務予定について
- ・会員状況について
- ・運転設備研修講座の開催について
- ・運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・運転法規研修講座の開催について
- ・研修・講習会のご案内

4 運営委員会

第17回運営委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年8月17日 16時00分から開催し、次の案件の報告・審議を行った。

会務報告

- ・2023年度の会務経過と今後の予定
- ・会員状況について
- ・運転理論講習会開催について

- ・ 運転法規研修講座開催について
 - ・ 運転関係指導者講習会開催について
 - ・ 2023年度（第44回）運転業務研究会発表会について
- 審議事項

- ・ 2023年度運転功労者表彰の支部別割当数について

5 第28回支部長会議 ステーションコンファレンス万世橋
2023年11月24日 14時30分から開催し、次の案件の報告等を行った。

- ・ 支部別等会員数 (報告)
- ・ 支部別・事業者別正会員数 (報告)
- ・ 支部別・運輸局別法人会員数 (報告)
- ・ 支部会員数の各年度月別推移 (報告)
- ・ 支部活動状況経過まとめ (報告)

6 東記念賞選考委員会 ステーションコンファレンス万世橋
2023年11月24日 15時35分から開催し、候補案件を審議した。
その結果、下記案件に決定した。

- ・ 相鉄新横浜線・東急新横浜線の開業～つながる！相鉄・東急直通線～
(相模鉄道株式会社)
(東急電鉄株式会社)

7 企画委員会

- (1) 第299回開催 西日本旅客鉄道㈱「北陸広域鉄道部・会議室」
2023年5月18日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 運転理論（運転曲線）講習会の開催について
 - ・ 2023年度運転業務研究発表会の開催とご参加のお願いについて
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他
- (2) 第300回開催 東武鉄道㈱「春日部乗務管区・会議室」
2023年7月3日（月）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 運転法規研修会の開催について
 - ・ 運転関係指導者講習会のご案内について
 - ・ 東記念賞の推薦について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他
- (3) 第301回開催 北海道旅客鉄道(株)「函館新幹線総合車両所・会議室」
2023年9月14日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 運転功労者表彰の支部別割当について
 - ・ 運転関係指導者講習会について
 - ・ 運転業務研究発表会について
 - ・ 東記念賞業績候補への申請について
 - ・ 運転協会功績者褒賞の推薦について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他
- (4) 第302回開催 西武鉄道(株)「秩父市歴史文化伝承館・中央公民館・会議室」
2023年11月8日（水）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 運転業務研究発表会について
 - ・ 運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・ 東記念賞候補への申請（案）について

- ・ 運転協会功績者褒賞候補者の推薦（案）について
- ・ 運転協会誌の優秀論文会長賞候補作品、優秀論文賞候補作品、優秀エッセイ賞候補作品、佳作賞候補作品について
- ・ 各社局の情報連絡について
- ・ その他

- (5) 第303回開催 小田急電鉄㈱「江ノ島イルキャンティビーチェ個室」
2024年1月18日（木）に開催し、次の案件を報告と審議を行った。
- ・ 運転協会創立65周年記念式典での2023年度各賞の表彰について
 - ・ 運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他

- (6) 第304回開催 西日本旅客鉄道㈱「福井電気工事所・会議室」
2024年3月7日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 2024年度（第64回）海外鉄道視察団の派遣について
 - ・ 運転設備研修講座について
 - ・ 2024年度日本鉄道運転協会事業計画（案）概要
 - ・ 2024年度研修会・講習会のご案内について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他

8 運転管理研究委員会

- (1) 第25回開催 ステーションコンファレンス万世橋
2023年5月8日（月）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・ 「ワンマン運転の運用状況及び導入課題について」
アンケート調査結果についての報告と各社局の取組みと課題等の意見交換
 - ・ 次回検討希望テーマ（課題）について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他
- (2) 第26回開催 「アートホテル宮崎スカイタワー・会議室」
2023年11月1日（水）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・ 「乗務員のモチベーション向上（人材確保の観点から）」
アンケート調査結果の報告と各社局の取組み、課題等の意見交換
 - ・ 次回検討希望テーマ（課題）について
 - ・ 2024年度の委員長、副委員長（2名）の改選（選出）について
委員長：延命 誠（京成電鉄㈱） ⇒ 田中 庸久（京王電鉄㈱）
副委員長：志水 仁（日本貨物鉄道㈱） ⇒ 関 淳也（北海道旅客鉄道㈱）
副委員長：阿曾 英明（京都市交通局） ⇒ 田中 耕一（神戸市交通局）
 - ・ 各社局の情報連絡について

9 安全情報委員会

2023年度は特に課題となる案件がなかったことから、委員会は開催しなかった。なお、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

10 運転協会誌編集委員会

2023年度は、6月8日に函館、9月8日に大阪、11月16日に那覇で開催したほか、上記を除く毎月上旬に東京地区において開催し、その都度運転協会誌の編集計画を審議して決定した。

1.1 運転協会事務担当者打合会議

運転協会の事業・支部活動・会員の増加対策ため、全国事務担当者会議を前期6月15～16日を秋田、後期を12月7～8日に沖縄にて開催、関西地区事務担当者会議を10月12日に京都にて開催、関東地区事務担当者会議を9月21日に神奈川にて開催した。

1.2 支部活動

(1) 北海道支部	2023年10月18日	会計監査	
	2023年10月20日	支部総会	
(2) 東北支部	2024年 2月28日	会計監査	
	2024年 3月22日	支部総会	
(3) 新潟支部	2023年 4月19日	会計監査	
	2023年11月13日	支部総会	
(4) 中部支部	2023年 8月10日	会計監査	
	2023年 9月 7日	支部総会	講演
(5) 関西支部	2023年 4月28日	会計監査	
	2023年 7月 7日	運営委員会	
	2023年 7月31日	支部総会	
	2023年 7月31日	運転業務研究発表会	
(6) 広島支部	2023年 7月25日	会計監査	
	2023年 8月 2日	支部総会	
	2023年 8月 2日	運転業務研究発表会	
(7) 四国支部	2023年12月22日	会計監査	
	2024年 1月12日	支部総会	講演
(8) 九州支部	2023年 6月 7日	会計監査	
	2023年 7月27日	運営委員会	
	2023年 7月27日	支部総会	講演
(9) 関東部会	2023年 9月 5日	部会	

1.3 講演・試乗会

(1) 講演会

- ・第13回定時社員総会 2023年6月30日
講演者 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 青柳 俊彦様
演 題 九州を元気に！—JR九州のこれまでとこれから—
- ・中部支部総会 2023年9月 7日
講演者 医師 精神指定医 日本医師会認定産業医 労働衛生コンサルタント
(保健衛生) 小藪 智也様彦
演 題 「鉄道会社におけるメンタルヘルスケア」
- ・四国支部総会 2024年1月12日
講演者 四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 運輸部 担当部長 佐藤 重喜様
演 題 「JR 西日本のリスクアセスメント、リスク低減と安全を最優先する企業風土づくりの取り組み」
- ・九州支部総会 2023年7月27日
講演者 スターバックスコーヒージャパン元 CEO 岩田 松雄様
演 題 「ミッション：なぜ私たちは働くのか？」

(2) 試乗会

- ・2023年6月 東武鉄道株式会社 SPACIAX 「N100系」試乗会 (150名)
- ・2023年6月 大阪市高速電気軌道株式会社 新型車両「400系」試乗会 (46名)

- ・ 2023年7月 泉北高速鉄道株式会社 新型車両「9300系」試乗会 (39名)
- ・ 2024年3月 北大阪急行株式会社 新駅間(箕面船場阪大目駅～箕面萱野駅)内覧会・試乗会 (41名)

1.4 役員及び職員等 (2024年3月31日現在)

役職名	定員	実員
代表理事・会長	1名	1名
代表理事・専務理事	1名	1名
執行理事	2名以内	2名
理事(上記を除く)	46名以内	44名
監事	2名以上5名以内	3名
職員・嘱託	—	9名

1.5 会員数 (2024年3月1日現在)

正会員(個人)	23,658名(対前年同期比)	666名減
法人会員	226社(対前年同期比)	0社減

III 事業関係

1 2023年度の主な事業概要は、以下のとおりである。

- (1) 運転協会誌は、旬なテーマを特集として取り上げ、読者が興味を持ち、役立つ内容の編集に注力した。
- (2) 受託調査研究は、国土交通省から「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第113条(停止を指示する信号の現示)等に関する調査検討」、「令和5年度動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」、「令和5年度動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」の3件を受託した。
なお、鉄道事業者からの受託件名は東日本旅客鉄道株式会社から、「新幹線自動運転検討委員会」を受託した。
- (3) 自主研究は『乗務員のヒューマンエラーにおける未然防止対策および再乗務への教育指導について』3月22日開催の第2回委員会で承認された。
- (4) 2023年度の講習会は、運転設備研修講座(85名)、運転法規研修講座(67名)、運転理論(運転曲線)講習会(70名)、運転関係指導者講習会(226名)、運輸業務管理ゼミナール(64名)の合計512名の受講者の参加があった。
- (5) 運転業務研究発表会は、44回目となり11月9日、10日に開催され30件の研究テーマの発表があった。今回、聴講については新型コロナウイルス感染状況の鎮静化に伴い、入場者は制限せず延べ人数48事業者520名であった。
- (6) 海外鉄道視察団派遣は、新型コロナウイルスが5類感染症の扱いとなり行動制限が緩和されたことから、9月18日～27日までの10日間欧州3か国を訪問視察した。
- (7) 平成23年4月1日にリスク情報共有化の仕組みの一環として、安全情報委員会を設置し、平成23年7月1日より、当面、法人会員30事業者(JR7社、公営7都市、大手民鉄16社)を対象とし、インデックス情報等からなる新しい情報共有のしくみを構築し、活動を開始した。2023年度においては、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

2 運転協会誌発行

第65巻4月号から第66巻3月号までを発行した。前年に引き続き協会会員の要望に応えるよう出来るだけ各号を特集化し、資料としても活用できるように配慮した編集に尽力して、会員の負託に応えられるよう更なる内容の充実を図った。

2023年	4月号	乗務員養成	特集
〃	5月号	新入社員研修	特集
〃	6月号	ダイヤ改正	特集
〃	7月号	運転整理	特集
〃	8月号	地方鉄道	特集
〃	9月号	定期外旅客の創造	特集
〃	10月号	自動運転	特集
〃	11月号	自然災害	特集
〃	12月号	降積雪対策	特集
2024年	1月号	(新年号のため特集なし)	
〃	2月号	業務研究	特集
〃	3月号	運行管理システム	特集

3 図書発行・販売

- (1)「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第八版）（令和2年4月発行）
省令及び解釈基準を制定した時点での技術的根拠、事例等の考え方等をまとめものであり、実施基準の策定、管理、運転の取扱い等に活用が期待される書で、販売数は283冊であった。
- (2)「運転理論（再改訂版）」（初版）（平成22年5月発行）
輸送計画における運転理論の役割、基礎項目の解説から運転線図の作成までを最近の鉄道技術の進歩に合わせて改訂した詳細解説の専門書で、販売数は142冊であった。
- (3)「鉄道のスピードアップ」（第四版）（平成8年7月発行）
鉄道のスピードアップの技術は、車両・施設・電気・運転等全般にわたるため、各専門分野の第一人者の方々の協力を得て、体系的に整理された技術書で、販売数は12冊であった。
- (4)「鉄道の運転保安設備（付 輸送計画実務の手引き）」（初版）（平成18年9月発行）
鉄道の運転保安設備に関する基本的な考え方や、新しいシステム・機器の開発を含め、輸送・運転・設備関係者の実務・教習用としてまとめ整理された専門技術書で、販売数は121冊であった。
- (5)「重大運転事故記録・資料（復刻版）追補第二版 昭和62年4月～平成23年3月」（平成25年12月発行）
鉄道有史以来平成23年3月までの旧日本国有鉄道及び地方鉄道・軌道における重大事故記録をまとめたもので、鉄道の運転・保安業務に携わる方々を中心に購入希望があり、57冊の販売数であった。
- (6)「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」（初版）（平成24年8月発行）
鉄道の安全の仕組みの生い立ちと現在の運転取扱いとの関わりについてまとめたもので、鉄道事業者の関係者などに向けた専門書であるが、易しく核心を捉えた解説書で、販売数は63冊であった。
- (7)「安全のキーポイント～ヒューマンエラーの防止～」（復刻版）（平成26年2月発行）
平成8年以来、絶版となっていたが、会員の要望により復刻した。実務を基礎としたヒューマンエラーの防止を「こころの働き」「適性」「からだのリズム」「乗務作業の特徴」「エラー行動」「教育・指導方法」「運転用機器」「健康管理」の8つのキーとして捉え、解説をしている指導・保安担当関係者の基礎学習書で、販売数は29冊であった。
- (8)「実践運転概論」（第二版）（令和2年6月発行）
協会顧問が永年にわたって講習した内容をわかりやすくまとめて、書籍として発行した。また、一部版の改訂を行った。販売数は113冊であった。
- (9)「わかりやすい運転操縦実務」（初版）（平成27年3月発行）
平成25年度、26年度にかけて設置した「わかりやすい運転操縦実務研究委員会」による報告書を元に書籍化した。運転士目線での運転操縦実務を解説した技術解説書で、販売数は48冊であった。
- (10)このほか、運転協会誌の一般書店等における販売数が661冊であった。

4 受託調査研究

- (1) 「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第11条（動力車を操縦する係員の乗務等）等に関する調査検討」（国土交通省委託）

鉄道の技術基準については、平成14年3月に技術基準省令が性能規定化されて以来、国土交通省から、この省令等の運転関係における見直しについての調査検討を委託されている。2023年度は、GoA2.5自動運転において、「緊急停止操作を行う係員（以下、「GoA2.5係員」という。）を列車の最前部の車両の前頭に乗務させる場合」の、省令第11条（動力車を操縦する係員の乗務等）の解釈基準の中で、GoA2.5係員の位置づけ等について検討した。

また、通過信号機が使用できないときに停車場を通過する列車に対して使用する通過手信号について、実態を調査し、技術基準省令第117条等のあり方を検討した。

なお、「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（通称、「緑本」）の見直しについては、技術基準調査研究会（運転）のもとで自主研究として当協会が事務局となって進め、取りまとめを行った。

- (2) 「令和5年度 動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の運転免許制度については、昭和31年に制定された動力車操縦者運転免許に関する省令（以下、「動免省令」という。）において、制度を定め、これまで運用されている。また、動免省令に規定される指定養成所については、昭和44年に制定された通達「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」（以下、「指導基準通達」という。）において、講習内容や使用教材等の運転士養成に必要な項目が定められているが、制定されて以降、一度も大きな見直しが行われることがないまま、今日に至っている。

一方、この間のハイブリッド車両等の導入や、CAI教材やシミュレータ等の効率的な学習を実現するための教材の充実等により、制定当時とは環境が大きく異なっていることから、運転士の資質の維持向上と鉄道輸送の安全が確保されることを前提に、令和5年度は動免省令並びに指導基準通達に対する鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討を国土交通省から委託され、報告した。

- (3) 「令和5年度 動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）について、現在、省令で定められている「視野、両眼視機能及び色覚について正常であること」とされているが、各視機能について「動力車の操縦に支障を及ぼすと認められる異常がないこと」に修正することについて合意を得て国土交通省に報告した。

また、各耳とも5メートル以上の距離でささやく言葉を明らかに聴取できること。（以下、「囁き声検査方式」という。）と定められている基準を、将来オーディオ・メーターでも測定可能な数値基準に見直すことを想定し、動力車操縦者が聴取すべき音の種類や暗騒音等に関する調査を令和4年度に続き委託され、国土交通省に報告した。

令和5年度においても、上記調査に加え、聴力検査を囁き声検査方式で実施している鉄道事業者を訪問し、囁き声の音圧と周波数を測定し、数値基準との整合性を検討するための基礎データを収集した。

- (4) 「新幹線自動運転検討委員会」（JR東日本委託）

少子高齢化や働き方改革などにより社会環境が変化する状況においても、効率的でサステナブルな鉄道経営を維持し、より安全でかつ利便性の高い輸送サービスの実現を目指し、現在新幹線の自動運転実現に向けた検討・開発を行っている。システムの安全性や信頼性、運転取扱いなど様々な角度から検討を進めるため、「新幹線自動運転検討委員会」を設立した。

委員会を効率的に運営するための検討課題に関する成果物整理、議事録作成・整理等をJR東日本より委託され、3回実施（5回開催予定）

5 自主研究

2022年度(第41回)調査研究テーマ『乗務員のヒューマンエラーにおける未然防止対策および再乗務への教育指導について』第1回委員会にて承認のもと、4月に委員会29社局へアンケート調査を実施した。第3回の小委員会と20回の幹事会を開催すると共に、研究成果を2023年3月23日に開催した第2回委員会で報告、承認いただいた。2024年5月中旬を目途に製本、実効性の高いものを各事業者へ配布する。

6 講習会等

(1) 第28回運転設備研修講座

- ・施行日 2023年6月7日～9日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 85名
- ・講師 (順不同・敬称略)
国土交通省鉄道局技術企画課 電気基準係長 荒井 健吾 氏
東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 安全企画部主幹 片方 喜信 氏
一般社団法人日本鉄道運転協会 技術部長 寒河江 仁 氏
一般社団法人日本鉄道運転協会 顧問 石井 信邦 氏

(2) 第28回運転理論(運転曲線)講習会

- ・施行日 2023年8月22日～25日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 70名
- ・講師
元JR水戸鉄道サービス(株) 監査役 赤津 尚孝 氏

(3) 第29回運転法規研修講座

- ・施行日 2023年9月6日～8日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 67名
- ・講師 (順不同・敬称略)
国土交通省鉄道局技術企画課 運転基準係長 鈴木 健仁 氏
東京地下鉄(株) 安全・技術部 技術管理担当部長 作原 敏弘 氏
一般社団法人日本鉄道運転協会 顧問 石濱 順吉 氏

(4) 第58回運転関係指導者講習会

- ・開催日 前期 2023年10月4日(水)～6日(金)
後期 2023年10月18日(水)～20日(金)
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 226名(前期122名 後期104名)
- ・講師(順不同、敬称略)
国土交通省 鉄道局 安全監理官 黒川 和浩 氏
JR東日本健康推進センター 所長 笠原 悦夫 氏
(株)JR東日本パーソネルサービス 医学適性科担当部長 山本 尚寿 氏
株式会社ミネクリエーツ 常務取締役 総合研修センター 佐藤 寿 氏
(株)JR東日本パーソネルサービス 事業本部 副本部長 土屋 博一 氏
株式会社ミネクリエーツ 代表取締役社長 吉田 秀貴 氏
(株)JR東日本パーソネルサービス コンサルティング 事業部マネージャー 鈴木 博人 氏
政策研究大学院大学 教授

J R 東日本研究開発センター	シニアリーダー(ヒューマンファクター)	楠神 健 氏
J R 東日本研究開発センター	ユニットリーダー(ヒューマンファクター)	藤代 博明 氏
J R 東日本研究開発センター	ユニットマネージャー(ヒューマンファクター)	千葉 武史 氏
(株)パーソネルサービス(派遣依頼)	(株)オンリーワン専属講師	川添 美和 氏

(5) 第 2 1 回 運輸業務管理ゼミナール

- ・ 施行日 2024年2月8日～9日
- ・ 会 場 機械振興会館
- ・ 受講者 64名
- ・ 講 師 (順不同・敬称略)

国土交通省 鉄道局	安全監理官	黒川 和浩 氏
元帝都高速度交通営団		佐藤 公一 氏
(株)オンリーワン	専属講師	小島 順子 氏
東急電鉄株式会社	総括産業医	伊藤 克人 氏
静岡英和学院大学	教 授	重森 雅嘉 氏
西日本旅客鉄道株式会社	安全研究所担当部長	鶴原 修 氏

7 第63回海外鉄道視察団派遣

2023年度の海外鉄道視察団派遣は、参加者18名で開催、9月18日～27日までの10日間の行程で欧州3か国(スウェーデン、ドイツ、スイス)を訪問、視察を行った。

8 第 4 4 回 運輸業務研究発表会

- (1) 実施日 2023年11月 9日(木)、11月10日(金)
- (2) 会 場 機械振興会館 ホール
- (3) 聴講者 無料 入場制限なし
- (4) 発表社局と発表テーマ 27社局30テーマ(2023年度までの累積発表件数1,002件)
- (5) 発表者と表彰結果

第44回運輸業務研究発表作品数は30件の応募があり、発表後の審査結果は、鉄道局長賞1社、協会会長賞1社、交通新聞社賞1社、審査委員特別賞1社、優秀賞7社、奨励賞7社、努力賞12社であった。

(運輸業研究発表会作品成績表 別紙-1参照)

9 創立記念式典及び表彰関係

2024年1月26日創立65周年記念式典を飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて挙行し、東記念賞、運輸功労者表彰、運輸協会誌優秀作品賞及び協会功績者褒章の表彰を行った。

(運輸功労者賞、運輸協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞名は、別紙-2、3参照)

(1) 東記念賞

件 名	受 賞 者
相鉄新横浜線・東急新横浜線の開業 ～つながる！相鉄・東急直通線～	相模鉄道株式会社 東急電鉄株式会社

- (2) 運輸功労者賞：鉄道の運輸業務に顕著な功績があつて支部長から推薦された29名に表彰

状を授与した。累計では2023年度までに1,235名となっている。

- (3) 運転協会誌優秀作品賞：運転協会誌において特に優秀と認められた作品に対して優秀論文会長賞1名、優秀論文賞3名、優秀エッセイ賞4名に表彰状を授与した。
- (4) 協会功績者褒賞：運転協会の発展に特に貢献された2名に褒賞を授与した。

10 運転協会誌表紙写真コンテスト

2024年度用運転協会誌表紙写真コンテスト(応募者60名、作品237点)は、2024年3月7日の審査で入選作品を決定し、表彰した。

特選	慕進	相模鉄道(株)	中久喜 保 氏
1等	斜陽を受けて	京王電鉄(株)	吉田 忠司 氏
	涼風	近畿日本鉄道(株)	岩崎 武 氏
	イブマクの長夜	京浜急行電鉄(株)	小林 航 氏
2等	6点		
佳作	10点		

(運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者一覧 別紙-4 参照)

2023年度 第44回運輸業務研究発表会 研究作品成績表

2023年11月9日・10日

場所：機械振興会館

賞	標 題	会 社 名	職 場 名
鉄道局長賞	運転中における適切な注意配分について	東海旅客鉄道株式会社	名古屋運輸区
協会会長賞	THINKS 鉄道の未来に新たな可能性を	京浜急行電鉄株式会社	新町乗務区
交通新聞社賞	「ワイヤレスイヤホン拾得を安全に行うために」	京王電鉄株式会社	京王東管区、相模原管区
審査員特別賞	褒める文化の定着！ポジティブマインド効果	東武鉄道株式会社	森林公園乗務管区
優秀賞	特別支援学校と共に歩む ～安全・安心を求めて～	近畿日本鉄道株式会社	津駅
優秀賞	過去の事故を風化させない ～次の10年へ～	阪急電鉄株式会社	神戸線運輸課運輸係
優秀賞	車イス介助忘れ防止に向けた取り組み	京阪電気鉄道株式会社	京都列車区、枚方エリア
優秀賞	「北海道クルーズ」最高の運転を目指して	北海道旅客鉄道株式会社	苗穂運転所、運輸部運用課
優秀賞	考えて話せる人へ	東急電鉄株式会社	長津田車掌区
優秀賞	アイトラッキングを活用した視線リスク低減に向けた研究	西日本旅客鉄道株式会社	京都電車区
優秀賞	運輸データを活用した生産性向上の取り組み	東日本旅客鉄道株式会社	秋田運輸区
奨励賞	DX化で『めざせ！ホームドアマスター』	東京地下鉄株式会社	有楽町・副都心線乗務管区
奨励賞	操縦方法による定時性と電力削減の両立手法	西武鉄道株式会社	小手指乗務所
奨励賞	持続可能な満足のいく安全	大阪市高速電気軌道株式会社	中百舌鳥乗務所
奨励賞	「小田急防衛軍」が目指す世界	小田急電鉄株式会社	海老名乗務所
奨励賞	ヒューマンエラー縮減のための一考察	仙台空港鉄道株式会社	運輸管理所
奨励賞	ITソリューションを活用した教育資料の作成	日本貨物鉄道株式会社	札幌機関区
奨励賞	乗務員の鹿対応における負担軽減の研究	東海旅客鉄道株式会社	富士運輸区
努力賞	扉事故防止ツール「各駅ミエル君」の考案	阪急電鉄株式会社	宝塚線運輸課運輸係
努力賞	経済運転を実践してもらうために	箱根登山鉄道株式会社	総合運転所
努力賞	運転事故と基本動作について	四国旅客鉄道株式会社	高知運転所運輸科
努力賞	「地震発生時のお客さま対応について」	名古屋鉄道株式会社	名古屋乗務区、神官前乗務区
努力賞	経験浅薄者教育ツールの作成 ～扉操作時における5秒間の確認～	北大阪急行電鉄株式会社	運輸課
努力賞	系統を越えた連携で工事取扱いの事故を防止	愛知環状鉄道株式会社	指令担当
努力賞	繋げ！『安全・安心』	南海電気鉄道株式会社	高野線堺管区
努力賞	【異常時の対応力向上を目指して】～お客さまが知りたい情報の提供～	阪神電気鉄道株式会社	運転指令室、東部列車所、西部列車所
努力賞	基本動作の徹底による安全確保について	札幌市交通局	東豊線乗務係
努力賞	下部信号場「意識の迂回」を防ぐ色の効果	九州旅客鉄道株式会社	大分乗務センター
努力賞	「新しい訓練方法を取り入れた乗務員への車両訓練」	近畿日本鉄道株式会社	名張列車区
努力賞	ヒューマンエラーを未然に防止	西日本鉄道株式会社	筑紫乗務所

2023年度 運転功労者表彰

番号	支部	賞	社名	所属部署・役職	氏名
1	北海道	運転功労者	札幌市交通局	運輸課 乗務担当課長	柿崎 博幸
2	東北	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	盛岡支社 一ノ関統括センター 副所長(乗務統括)	若本 大喜
3	新潟	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	新潟運輸区 区長	小野沢 信也
4	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	八王子支社 鉄道事業部 モビリティ・サービスユニット 指令室 マネージャー(指令室長)	小林 広幸
5	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	横浜支社 小田原・伊豆統括センター 副長(乗務・運行管理統括)	押味 大
6	関東	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	新幹線鉄道事業本部 運輸営業部 輸送課 課長代理	増田 道義
7	関東	運転功労者	東京都交通局	電車部 運転課 課長代理(運行計画担当)	平賀 一政
8	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 運転部 運転企画課 課長補佐	森田 一行
9	関東	運転功労者	東武鉄道株式会社	運輸部 東上運行管理所 所長	武井 博之
10	関東	運転功労者	西武鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 次長	高橋 正信
11	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 八千代台駅 駅長	嶋田 英明
12	関東	運転功労者	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 鉄道教習所 課長補佐	落合 忠史
13	関東	運転功労者	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車両部 大野乗務所 助役	工藤 英雄
14	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 安全戦略推進委員会 課長補佐	小林 太郎
15	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 運転課 課長補佐	山口 嘉之
16	関東	運転功労者	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 鉄道乗務員育成所 所長	峯村 直樹
17	関東	運転功労者	東葉高速鉄道株式会社	運輸施設部 運輸指令所 運輸指令長	伊藤 宣一
18	関東	運転功労者	首都圏新都市鉄道株式会社	運輸部 総合指令所 所長	萩野谷 勝彦
19	中部	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	静岡支社運輸営業部 運用車両課 課長代理	入口 忠
20	中部	運転功労者	名古屋鉄道株式会社	大曾根幹事駅 幹事駅長	鷺見 靖史
21	中部	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運輸部 運行課 課長補佐	奥野 文昭
22	関西	運転功労者	西日本旅客鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 運転士課 担当課長	阿川 啓三
23	関西	運転功労者	南海電気鉄道株式会社	高野線堺管区 駅長	佐藤 浩二
24	関西	運転功労者	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 営業課 計画係 係長	栗林 竜也
25	関西	運転功労者	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部 運輸部 運転課 課長補佐	鎌政 昌寿
26	関西	運転功労者	山陽電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 運転教育課 運転教育課長	大岡 健三
27	広島	運転功労者	日本貨物鉄道株式会社	関西支社 広島支店 幡生総合鉄道部 部長	久保井 唯文
28	四国	運転功労者	四国旅客鉄道株式会社	高松運輸所 所長	大喜多 啓邦
29	九州	運転功労者	株式会社JＲ西日本中国メンテック	新幹線事業部 安全推進室 室長	牧之内 健二

別紙－3 運転協会誌優秀作品賞表彰者及び運転協会功績者褒章

2023年運転協会誌 優秀論文会長賞、優秀論文賞、優秀エッセイ賞

1. 優秀論文会長賞

執筆者名	会社名	標 題
矢津田光雄	相模鉄道	単純明快なダイヤから複雑なSTダイヤへの変貌 (2023.6月号)

2. 優秀論文賞

執筆者名	会社名	標 題
加覧 剛宏	京浜急行電鉄	もつと地域とともに。京急線ダイヤ改正 (2023.6月号)
縄田 雅之	東京地下鉄	無線式列車制御システム(CBTC)の導入に向けた取組み ーシステム概要, 運転取扱いの策定, 教育の実施ー (2023.3月号)
須田 康之	日本貨物鉄道	日本各地の保安装置に対応した貨物列車 (2023.3月号)

3. 優秀エッセイ賞

執筆者名	会社名	標 題
谷本 悟	黒部峡谷鉄道	【鉄道紀行】(434) 黒部峡谷トロッコ電車 絶景の旅 (2023.4月号)
岸野 誠	京浜急行電鉄	【運転日誌余話】(376)車掌編 憧れの背中を追いかけて (2023.8月号)
相馬 孝章 松橋 信広	東日本旅客鉄道 日本鉄道構内営業中央会	【ニュース】鉄道開業150年と駅弁 (2023.4月号)

2023年度 協会功績者褒章

氏 名	会社名	職 名
松岡 善浩	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 課長
中村 徹也	東武鉄道株式	春日部乗務管区 管区長

別紙—4 2024年度運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

2024年度運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

応募総数 60名 237点

賞	氏名	所属会社	作品名
特選	中久喜 保	相模鉄道(株)	轟進
1等	吉田 忠司	京王電鉄(株)	斜陽を受けて
	岩崎 武	近畿日本鉄道(株)	涼風
	小林 航	京浜急行電鉄(株)	イブマクの長夜
2等	佐藤 峻	東急電鉄(株)	爆雪
	小坂橋美次	東日本旅客鉄道(株)	至福の旅
	南部 司	東急電鉄(株)	シールドトンネル
	谷口 清和	相模鉄道(株)	時を止める水鏡
	山田 里美	小田急電鉄(株)	白煙
	三浦 大介	相模鉄道(株)	弥生台の桜とヒカリエ号、相直開業で実現!!
佳作	固山 敏行	電気技術開発(株)	緑の森を抜けて
	佐久間幸道	小田急電鉄(株)	森を抜けて
	南部 司	東急電鉄(株)	新緑とレンガトンネル
	吉田 忠司	京王電鉄(株)	夕暮
	原田 将浩	南海電気鉄道(株)	オーバークロス
	太田 徹	西武鉄道(株)	桜とラッセル車
	中久喜 保	相模鉄道(株)	猛進
	荒井 剛	東武鉄道(株)	新旧多彩
	谷元 健治	東京地下鉄(株)	ヨンマル最果てを往く
	小林 航	京浜急行電鉄(株)	白羽の矢